

<速報>

* 5月1日（日本）、安全保障関連法に基づき平時から自衛隊が米軍の艦船などを守る「武器等防護」の初任務を命じられた海上自衛隊の護衛艦「いずも」が海自横須賀基地を出発した。

* 5月1日、フィリピンのドゥテルテ大統領が南部ミンダナオ島のダバオ市に親善訪問のため停泊中の中国海軍のミサイル駆逐艦「長春」に乗艦した。

* 5月1日、パレスチナのハマスの指導者マシャル氏がカタールの首都ドーハで「一般諸原則と諸方針文書」を発表し、1967年の第4次中東戦争前の境界を国教とするパレスチナ国家樹立をハマスの方針文書として初めて掲げた。闘争する相手はユダヤ人全体ではなく、ユダヤ人国家をつくるためにパレスチナを占領するユダヤ人だと説明、対イスラエルで高校路線から柔軟路線へ転換する可能性を示唆した。

* 5月1日、インドの北部ジャム・カシミール州で現金を積んだ銀行車両が武装集団に襲撃され、乗っていた警察官5人と銀行員2人の7人全員が死亡した。

* 5月1日、ベネズエラのマドゥロ大統領がカラカスで開催された大統領支持派の集会で新憲法制定に着手すると述べた。

* 5月1日、トランプ大統領が米国ブルームバーグ通信のインタビューに対し、北朝鮮の金正恩朝鮮労働党院長について、「私にとって適切なものであれば、当然、階段することを」光栄に思う」と発言した。会談は「適切な状況下で行われることになる」とも強調した。

* 5月1日、ベネズエラのマドゥロ大統領が「制憲議会」を設置すると表明した。詳細については不明な点があるが、大統領自身の説明からは、制憲議会構想の強権的な側面が浮かび上がる。

* 5月2日、ギリシアのツァカロス財務相がEUから追加支援を受けるための経済改革案について、EUやIMFなどと合意したと表明した。4月初め、年金削減や個人所得税の課税拡大で2019年と20年にGDP比で敬2%程度財政趣旨を改善することで合意していた。

* 5月2日、EUが域内での移動の自由を定めた「シェンゲン協定」をめぐる難民や移民の大量流入を受けた一時的な措置としてドイツ、オーストリアなど5ヶ国に認められている国境管理を11月までに終了するよう勧告した。

* 5月2日、シリア北東部ハサカ県の対イラク国境に近い難民キャンプ一帯で「イスラム国」による襲撃があり、少なくとも38人が死亡した。

* 5月2日、ベネズエラのマドゥロ大統領が発表した「制憲議会」設立方針に反発する反政府勢力が抗議行動を実施した。同日、米国、アルゼンチン、チリ、ブラジルの政府がマドゥロ政権に決定に対して懸念を表明した。

* 5月2日、EU、欧州委員会などギリシャの国際債権団が同国への追加融資の条件となる財政改革について、実務者レベルで暫定合意に達したと発表した。債権団とギリシアは今後、融資決定に向けて残された債務軽減策の問題を詰める。

* 5月2日、ドイツのメルケル首相がロシア南部ソチで同国のプーチン大統領と会談したが、ウクライナ問題などで意見の隔たりが大きく、会談後の共同記者会見も終始緊張した雰囲気の中で行われた。

* 5月3日、イギリス下院（定数650）が6月8日投開票の総選挙に向けて解散された。与党・保守党種のメイ首相はEUとの離脱交渉に対する自らの方針への信を国民に問い、政権基盤の強化を狙う。

* 5月3日（日本）、安倍首相が憲法記念日に憲法改正を求める集会にメッセージを寄せ、「2020年を新しい憲法が施行される年にしたい」と明言した。

* 5月3日、アフガニスタンの首都カブールでNATO軍の車両を狙ったとみられる爆発があり、少なくとも通行人ら8人が死亡、NATO軍の隊員3人を含む約30人が負傷した。

* 5月3日、中国の習近平国家主席とフィリピンのドゥテルテ大統領が電話協議した。習主席はフィリピンが今年議長国を務めるASEANが地域の平和に積極的な役割を果たしてほしいと要請。4日、ドゥテルテ大統領は南部ダバオ市での式典で習近平主席との電話協議について、トランプ大統領から北朝鮮問題で仲介を頼まれたためだと話した。

* 5月3日（日本）、憲法記念日に「いいね！日本国憲法一平和と命と人権を一5・3憲法集会」が東京・有明の東京臨海広域防災公園で実施され、約5万5000人が参加した。大阪では1万8000人、札幌1400人、名古屋2200人、京都2800人、神戸1200人、高知410人、北九州500人が参加した。

* 5月3日、米国自治領プエルトリコが米連邦地裁に対し、債務を減らしてもらう法的手続きを申請した。事実上の、財政破たんのでプエルトリコ政府や関係機関が抱える負債額は計約740億ドル。

* 5月3日、トランプ大統領がホワイトハウスでパレスチナ自治政府のアッバス議長と初めて会談した。トランプは、2014年に頓挫したイスラエルパレスチナの中東和平交渉について「ぜひ仲介者になりたい」と述べ、仲介に強い意欲を示した。

* 5月3日、ティラーソン米国国務長官が国務省で植民向けに行った演説で、北朝鮮に対し「追加制裁を科す用意がある」と語った。一方で、北朝鮮と韓国を隔てる軍事境界線の「北側に入る口実を探している訳ではない」とも語り、金正恩政権と対話する意思があることを強調した。

* 5月3日、中国外務省のコウソウン副報道局長が記者会見で昨年11月に採択された国連安保理の対北朝鮮正妻決議に「新たに核実験や弾道ミサイル発射を実施するなら、さらに重大な措置を取ると明確に記されている」と指摘し、北朝鮮が挑発行為を繰り返せば中国も制裁強化を支持する考えを示唆した。

* 5月4日、ロシア、イラン、トルコの3ヶ国がシリアでアサド政権派と反体制派の戦闘が続くイドリブ県など4ヶ所に、安全地帯をつくることで合意した。

* 5月4日、米国下院が北朝鮮に対する制裁を強化する法案を賛成多数で可決した。北朝鮮が外貨獲得のために派遣する海外労働者の雇用主への制裁などを含み、核・ミサイル開発を

続ける北朝鮮の資金源を遮断する狙いがある。

*5月4日、米国下院本会議が2010年以来の医療保険制度改革（オバマケア）の内容を大幅に見直す代替法案を採決し、賛成217、反対213の「僅差で可決した。

*5月4日、オバマ前大統領がフランス大統領選の決選投票にのぞむマクロン候補への支持を表明した。

*5月4日、アルジェリアで国民議会（下院、定数462）の選挙が行われ、比例代表で任期5年。」連立与党が過半数の議席を獲得したものの、最大与党のアルジェリア民族解放戦線（FLN）が5年前の221議席から164議席に大幅に議席を減らした。投票率は38%。

*5月5日、米国CNNが米軍による南シナ海での「航行の自由作戦」の申請を国防総省が却下していたと報じた。トランプ政権が「最重要の外交課題」とする北朝鮮の核・ミサイル問題で協力を求めている中国に配慮したと見られる。

*5月日、イギリスで地方選挙が実施され、敬4851議席中、メイ首相の与党保守党が1900議席（572増）と大勝し、労働党は1152議席（391減）と議席を減らした。自民党は441議席、独立党は1議席であった。

*5月5日、米国国防総省が「アルシャバブ」掃討戦支援のためソマリアに派遣した米兵が武装勢力の攻撃を受け、米兵1人が死亡したと発表した。

*5月5日、

*5月6日、パレスチナ自治区ガザを実効支配するイスラム原理主義組織ハマスが新たな最高指導者に前ガザ地区指導者のハニヤ氏を選出した。

*5月7日、ドイツ北部のシュレスウィヒ・ホルンシュタイン州の州議会選挙（73議席）が実施され、キリスト教民主同盟（CDU）が得票を伸ばし、他党と連立して州政府を樹立することが確実となった。

*5月7日、フランス大統領選挙の決選投票が実施され、マクロン氏が2075万3798票（66.10%）が、1064万4118票（33.90%）のルペンを破って勝利した（投票率は74.56%）。

*5月8日、フィリピン政府がマルコス独裁政権（1965～86年）による民主化運動の弾圧の被害者に対する補償金の支給を開始した。

*5月9日、タイ南部パタニ県のスーパーマーケットで爆弾が2回爆発し、買い物客ら50人以上が負傷した。

*5月9日、韓国で大統領選挙が投開票され、最大野党「共に民主党」の文在寅・前代表（64）が41.4%を獲得し、「自由韓国党」の洪準杓・前慶尚道知事（62）が23.3%、中道系の野党第2党「国民の党」の安哲秀・元常任共同代表（55）が21.8%を破って勝利した。

*5月9日、トランプ大統領が連邦捜査局（FBI）のコミー長官を解任した。昨年の大統領選挙中のクリントン元国務長官のメール問題の取り扱いで「誤りがあった」とした。しか

し、F B Iは大統領選前後のトランプ陣営とロシアとの関係を検査しており、そのトップを解任するのは極めて異例。

* 5月9日、米国国防総省がシリアで「イスラム国」と戦うクルド人の武装組織「人民防衛隊」(Y P G)に武器を直接供給することを承認した。北部ラッカの奪還作戦を強化するのが目的。

* 5月9日、南スーダン軍のキール大統領が政府軍トップのポール・マロン参謀総長を解任した。

* 5月9日、米国国防総省がトランプ大統領が「イスラム国」と戦うスクド人の武装組織「人民防衛隊 (Y P G)」への武器供与を承認した。

* 5月10日、アルゼンチンで軍政時代の人権侵害の罪で服役中の受刑者の景気を半減する最高裁判決に反対する大規模な抗議行動が行われた。

* 5月10日、ロイター通信が米国と北朝鮮が非公式にノルウェーの首都オスロで協議していることが明らかになったと報じた。

* 5月10日、トランプ大統領がホワイトハウスでロシアのラブロフ外相と会談した。両社は、内戦が続くシリア問題の解決に向け連携を図り、悪化した米ロ関係を改善していくことで一致した。

* 5月11日、トランプ大統領が昨年の大統領選挙へのロシアが介入した疑惑をめぐるF B Iの捜査について、コミーン長官に自らが捜査対象になっているかどうかを問いただし、「操作の対象になっていない」との回答を受けていたことを明らかにした。

* 5月11日、マティス国防長官が訪問先のロンドンでトルコのエルドゥラム首相と会談し、シリア情勢などを協議したが、シリア北部の「イスラム国」の最大拠点ラッカ攻略戦でトランプ政権がクルド人民兵への武器供与を決めたことを説明した。

* 5月11日、トランプ政権が先月の米中首脳会談で決めた貿易不均衡是正のための「100日計画」の第1弾として、農業や金融、エネルギー分野について一部市場開放を進めることなど10項目を合意したと公表した。

* 5月12日、国連がコロンビアの F A R C との内戦終結をめぐり、F A R C の武装解除は一部完了したと発表した。

* 5月14日、中国が「シルクロード経済圏構想 (一帯一路)」の初めての首脳会議を北京で開催した。29ヶ国の首脳、130ヶ国以上の代表が参加した。

* 5月14日、北朝鮮が西部の平安北道亀城付近から東北東に向けて新型弾道ミサイル「火星12」1発を発射した。高度は2000キロを超え、約30分にわたって約800キロ非行、日本の排他的経済水域外の日本海に落下した。16日、韓国国防省が同ミサイルについて、射程4500~5000キロの中距離さん満天星 (I R B M) との見方を示した。「火星12」には新型エンジンが搭載されており、I C B M 級に進化させる狙いがあると見ている。

* 5月14日、フィリピン海軍が南シナ海の南沙諸島で同国が占有する岩礁に建設資材や

兵員の輸送を開始した。

* 5月15日、シリアのイラクとの国境に近い東部デリゾール県アブカマルの「イスラム国」支配地帯で有志連合による空爆があり、子供や女性を含む少なくとも23人が死亡した。

* 5月15日、フィリピンのドゥテルテ大統領が「一带一路」首脳会議に出席した北京で習近平国家主席と会談した。

* 5月15日、フランスのマクロン大統領がベルリンでドイツのメルケル首相と会談、EUやユーロ圏の結束に一致して取り組むことを確認した。

* 5月15日、ワシントン・ポスト紙など米国メディアがトランプ大統領が先週あったロシアのラブロフ外相らとの会談の際、同盟国（イスラエル）から寄せられた「イスラム国」をめぐる機密情報を漏らしたと報じた。

* 5月15日、国連安保理が北朝鮮による4月29日と5月14日のミサイル発射を強く非難する報道声明を発表した。

* 5月16日、オーストリアの主要政党が前倒し総選挙を10月15日に行うことで合意した。

* 5月16日、トランプ大統領がトルコのエルドアン大統領とホワイトハウスで初会談し、関係改善を図ったが、クルド人の武装組織に「対する米国の支援などをめぐって軋轢は残った。

* 5月16日、ニューヨーク・タイムズなど複数の米国メディアが、トランプ大統領がFBIに対し「ロシア疑惑」の捜査打ち切りを要請したことを示すコミー長官のメモが存在していたと報じた。

* 5月16日、イギリス労働党のコーヒン党首が6月6日投票の総選挙政策を発表、保守党政権による公共サービスの民営化や「学校・医療・福祉予算削減をただし、貧富の格差克服を目指す方策を盛り込んだ。

* 5月17日、イエメン中部ダイズ近郊で市民が乗った車両が空爆され、市民23人が死亡した。サウジアラビア主導の連合軍による誤爆と見られる。

* 5月17日、米国司法省が昨年の大統領選挙でのロシアを巡る問題で独立性が高い特別検察官として元FBI長官のロバート・マラー氏（72）を任命した。

* 5月17日、米国政府がイランと米英仏独中ロ6ヶ国が結んだ核合意による経済制裁の解除を当面継続すると発表した。

* 5月18日、米国通称代表部のライトハウザー代表がNAFTAについて再交渉に入る考えを議会に通告した。通告後90日後に貿易交渉に入るができる。

* 5月18日、トランプ大統領がホワイトハウスで記者会見し、昨年の大統領選挙に対するロシア介入疑惑を捜査する特別検察官が任命されたことについて、「魔女狩りだ。国を分断する」と反発した。

* 5月18日、リビア南部で旧リビア軍のハフタル元将校が率いる民兵組織「リビア国民軍」が支配下に置く航空基地が襲撃され、兵士ら141名が死亡した。襲撃したのは「国民軍」

と対立する暫定政府支持派の民兵組織「第3軍」。

* 5月19日、中国とフィリピンが南シナ海問題をめぐる二国間協議の初会合を中国南部の貴陽で開き、領有権を含む「会場の安全と協力」について議論することを確認した。今後は半年ごとに双方の国で協議を続けることになり、今回は年末にフィリピンで開く。

* 5月19日（日本）、自民、公明、維新の3党が「共謀罪」法案を衆議院法務委員会で強行採決した。

* 5月19日、米国NBCテレビが、複数の米国の公方当局者の話として、北朝鮮が14日に発射した新型ミサイル「火星12」に関して、弾頭が宇宙空間から大気圏に再突入する際に燃え尽きなかったと報じた。再突入が成功したとの見方を示したもので、大陸間弾道弾（ICBM）の実践配備に近づいたことを意味する。

* 5月19日、フィリピンのドゥテルテ大統領がダバオで演説し、15日に中国の北京で習近平国家主席と会談した際、「フィリピンが南シナ海の権益を強く主張するなら戦争になると」と警告されたことを明らかにした。

* 5月19日、ニューヨーク・タイムズがトランプ大統領がロシアのラブロフ外相らと会談した際、解任したコミー前FBI長官を「変人」と呼び、解任について「私は大きな圧力を受けていたが、取り除かれた」などと発言していたと報じた。

* 5月19日、イランで大統領選挙が実施され、内務省はロハに大統領（68）が勝利したと発表した。ロハに師が約57%、ライシ師が約38%だった。投票率は73.1%。

* 5月19日、イラク南部バスラと首都バグダッドで相次いで自爆攻撃があり、計35人が死亡し、多数が負傷した。「イスラム国」系列のメディアが犯行声明を伝えた。

* 5月20日、トランプ大統領がサウジアラビアを訪問し、サルマン国王と会談。米国内への投資拡大や巨額の武器輸出などで合意した。

* 5月20日、東チモールで東チモール独立革命戦線党首のフランシスコ・グテレス（通称ルオロ）（62）が第4代大統領に就任した。

* 5月21日、北朝鮮が同日午後4時59分頃、西部の平安南道・北倉付近から東方に向けて弾道ミサイル（「北極星2」）1発を発射した。高度約560キロ飛行し、日本の排他的経済水域外の日本海に落下した。

* 5月21日、アフガニスタン南部ザブール州で反政府勢力タリバンによる襲撃を受けて、少なくとも20人の警察官が死亡した。

* 5月21日、トランプ大統領が訪問先サウジアラビアでパレスチナ自治区ガザを実効支配するハンスをテロ組織として挙げたことを受け、ハマスが声明を発し、「完全なイスラエル偏向を示したものだ」と反発した。

* 5月21日、スペイン最大野党の社会労働党が党首に当たる書記長選の投票票を行い、元経済評論家のペドロ・サンチャス前書記長（45）が有力対立候補とされたスサナ・ディアス・アンダルシア自治州政府首相（42）を破って返り咲きを果たした。

* 5月21日、トランプ大統領が訪問先サウジアラビアの首都リヤドでイスラム諸国50

ヶ国の首脳や代表が参加した会議で演説し、テロや過激主義の壊滅へ連携を呼びかけた。イランについて、「テロリストを支援し訓練している」と非難し、「イランを孤立させること」を訴えた。

* 5月22日、タイの首都バンコクで軍が運営する病院で爆弾によるとみられる爆発があり、20人以上が負傷した。この日は軍事クーデターから3年目。

* 5月22日、トランプ大統領がイスラエルを訪問、エルサレムではユダヤ教の聖地「嘆きの壁」を現役米国大統領として初めて訪問。

* 5月22日午後10時35分、イギリス中部マンチェスター中心部のイベント会場で自爆テロが発生し、22人が死亡、約50人が負傷した。実行犯はリビア生まれの両親をもつマンチェスター生まれのサルマン・アベディ（22）。

* 5月22日、トランプ大統領が訪問中のイスラエルのネタニヤフ首相と会談、イランについて「核兵器を満たせることはない」と強く牽制する一方、イスラエルとパレスチナの中東和平に関しては「達成できると感じている」と強調した。

* 5月23日（日本）、「共謀罪」の趣旨を含む組織的犯罪処罰法改正案が衆議院本会議で自公・維新の賛成多数で可決された。

* 5月22日、北朝鮮の国営メディアの朝鮮中央通信は地対地の新型の中距離戦略弾道ミサイル「北極星2」の発射に成功したと報じた。金正恩・朝鮮労働党院長が現地を訪れて発射命令を出し、部隊への実戦配備を承認し、大量生産を指示したと伝えた。

* 5月22日、北朝鮮が21日に弾道ミサイルを発射したことを受け、国連安保理が緊急ミサイル発射を「強く非難する」報道声明を発表した。23日、安保理は緊急会合を開き、2週連続の発射への非難で各国の足並みはそろったが、中国は対話重視の姿勢を鮮明にした。

* 5月23日、昨年の大統領選挙へのロシアの介入をめぐる疑惑を捜査していたCIAのブレナン前長官がトランプ大統領の陣営とロシア政府側が「接触していた」と明言した。FBIが捜査に乗り出したことは「十分根拠があり必要だ」と語った。

* 5月23日（日本）、「共謀罪」の趣旨を含む組織的犯罪処罰法改正案が衆議院本会議で自民、公明、維新などの賛成多数で可決され、衆議院を通過した。民進、共産両党は反対し、社民、自由両党は本会議を欠席した。

* 5月23日、フィリピンのドゥテルテ大統領がイスラム武装組織が活動する南部ミンダナオ島全島に戒厳令を布告した。同島西部マラウィ市で「イスラム国」に共鳴する「マウテ」と呼ばれる武装勢力が同日複数の公共施設を占拠、治安部隊と戦闘となり、治安部隊の3人が死亡、12人が負傷した。

* 5月24日、シリア軍が「イスラム国」幹部で「戦争相」を務めていたアブサム・マスリ容疑者が北部アレッポ当方での戦闘で死亡したことを公表した。同容疑者は「イスラム国」組織内で4番目の高位にあった。

* 5月24日、エクアドルでレニン・モレノ新大統領の就任式が行われた。2007年以降3期辻田コレア前政権を引き継ぎ、同国の左派政権は4期目に入った。

* 5月24日、インドネシアの首都ジャカルタ東部のバスターミナル付近で爆発が起き、警官3人が死亡した。国家警察は「イスラム国」を支持する国内の組織による犯行の疑いが強いとの見方を示した。25日、「イスラム国」系列のアマク通信が犯行を認める声明を出した。

* 5月25日、フィリピン軍の報道官は政府軍との戦闘で「マウテ」の死者に外国人が含まれちゃいることを明らかにした。マレーシア、インドネシア、シンガポール、さうじゅアラビアなどの外国籍の戦闘員がいたとされる。

* 5月25日、トランプ政権とロシアとの関係をめぐる「ロシア疑惑」で、複数のメディアがトランプの娘婿ジャレット・クシュナー大統領上級顧問がFBIによる捜査線上に浮上していると伝えた。

* 5月25日、米国バージニア州リッチモンドの連邦高裁がイスラム圏6ヶ国からの入国を制限するトランプ政権の大統領令について、一時差し止めを命じたメリーランド州の連邦地裁の判断を支持し、効力復活を求める政権側の訴えを退けた。

* 5月25日、NATOがブリュッセルで首脳会議を開き、加盟各国による軍事拡大の達成に一定の強制力を持たせる仕組みを導入することで合意した。併せて、「イスラム国」の掃討作戦を進める有志国連合にNATOとして参加することを決めた。

* 5月25日、ギリシャのアテネ中心部でパパディオモス元首相が乗った車の中で手紙爆弾が爆発し、同氏のほか、運転手ら2人が負傷した。

* 5月25～26日、米国主導の有志連合軍が2度、シリア東部の町マヤディーンを空爆し、「イスラム国」戦闘員の親族ら106人が死亡した。16歳以下の子ども42人が含まれている。

* 5月26日、イタリア南部シチリア島タオルミナでG7首脳会議が開催され、外交・安全保障分野、経済分野について意見交換されたが、反保護主義・温暖化でトランプと他の6首脳の間の水が浮き彫りになった。

* 5月26日、エジプト中部ミニヤ県でキリスト教コプト教徒を乗せたバスが武装集団に襲撃され、28人が死亡、23人が負傷した。26日、シーシ大統領がテレビ演説で報復爆撃を予告し、演説後エジプト軍がリビア領内のアルカイダ系組織の拠点であるダルナを6回空爆した。他方、「イスラム国」が犯行声明をネット上に出した。

* 5月26日、ポルトガルで公共部門労働者、教員による賃上げ要求ストが実施された。EUが反緊縮政策によって財政状況の改善を実現したコスタ左派連立政権を評価したばかりであり、老渡川は財政状況が好転しているならさらなる賃上げを政府に迫っている。

* 5月27日、米国オンラインメデキア「アクシオス」がトランプ大統領がプロイット環境保護局長官らに対し、「パリ協定」から離脱する意向だと述べていたと報じた。

* 5月27日、エジプト軍が前日に続いてリビア東部ダルナを3回空爆した。エジプト軍はコプト教徒銃撃事件に関与した武装勢力への恋劇と説明。同日、「イスラム国」が犯行声明を出した。

* 5月28日、ドイツのメルケル首相が、米国と欧州が対立したイタリアでのG7を振り返り、「欧州人は本当に、自らの手で自分たちの運命を決めていかなければならない」と語った。米国第一主義を貫いたトランプ大統領への失望感を表した。

* 5月28日、スコットランドもスタージョン自治政府首相が6月8日の総選挙で同氏が率いるスコットランド民族党(SNP)がスコットランドで圧勝すれば、メイ首相は独立を問う住民投票の2回目の実施を拒否し続けることはできなくなるだろうと述べた。

* 5月28日、ベネズエラのマドゥロ大統領が反政府デモ隊が退役商工を殺害したと非難し、「憎悪犯罪だ」と国営テレビの番組で語った。

* 5月28日、マティス米国国防長官がCBSテレビに出演して、北朝鮮の核兵器・ミサイル開発問題に関連して、外交手段での皆解決ができず、北朝鮮との戦闘に発展すれば壊滅的な戦争になるとの見通しを示した。

* 5月29日、北朝鮮が同日午前5時40分頃、東部の江原道元山付近から東の方向に向けて弾道ミサイル1発を発射した。ミサイルは約450キロ飛行し、日本の排他的経済水域内に落下した。

* 5月29日、ロシアのプーチン大統領がパリ郊外のベルサイユ宮殿でカウロン大統領との初会談を行い、ウクライナ1機器をめぐる独仏ロとウクライナの4首脳による「ノルマンディー形式」と呼ばれる首脳間協議の枠組みを今後も継続することを確認した。

* 5月29日、ドイツのメルケル首相がベルリンで演説し、イタリアで開催されたG7首脳会議で地球温暖化対策をめぐって欧州諸国と米国が対立したことなどを念頭に、「われわれが他国に完全に頼る時代は終わった」と強調した。

* 5月29~30日、イラクの首都バグダッドで自爆テロが2件発生し、20人以上が死亡した。「イスラム国」が犯行声明を発出した。29日午後11時頃、バグダッド中心部で自動車が爆発、市民14人が死亡、40人以上が負傷。30日午前9時頃、最初の現場から約8キロ離れた場所で自動車が爆発、市民ら9人が死亡、30人以上が負傷した。

* 5月30日、北朝鮮の朝鮮中央通信が「精密操縦誘導システム」を導入した新型の弾道網サイルの発射を金正恩・朝鮮労働党院長が指導し、成功させたと報じた。日時や場所を明らかにしていないが、29日に東部の江原道元山付近から日本海に向けて発射した弾道ミサイルを指すと見られる。

* 5月30日、韓国の文在寅大統領が、韓国南部の星州に在韓米軍が最新s寧迎撃ミサイル「高高度防衛ミサイル(THAAD)」の発射台を配備している問題で、これまでに配備された2基のほかに、4基の発射台が同国、国内に追加範裕されていたことが判明し、真相を調査するよう鄭義溶国家安保室長とチョグ国民情主席秘書に指示した。

* 5月29日、コロンビアのサントス大統領がFARCとの内戦終結をめぐって、FARCの武装解除の最終期限を20日間延長すると発表した。

* 5月30日、米国国防総省が「イスラム国」と戦うクルド人武装組織「陣人防衛隊(YPG)」への武器供給を開始したことを明らかにした。

* 5月30日、イラク西部アンバル州ヒートで自爆テロが生じ、13人が死亡、22人が負傷した。「イスラム国」系メディア「アマク通信」が犯行声明を発売。

* 5月30日、米国国防総省ミサイル防衛局が、大陸間弾道ミサイル（ICBM）を想定した迎撃ミサイル実験で初めて行い、成功したと発表した。実験は、西太平洋のマーシャル諸島からICBM模擬弾を打ち上げた上で、カリフォルニア州バンデンバーグ基地から地上配備型ミッドコース防衛ミサイルを発射、大気圏外で破壊した模様。

* 5月31日午前8時半頃、アフガニスタンの首都カブールで政府官庁や各国大使館が立ち並ぶ官庁街で自動車爆弾による自爆テロが生じ、80人以上が死亡、350人以上が負傷した。